

新聞記事の感想を書くワークシート
に取り組み子どもたち



谷山小学校（鹿児島市）

読解、表現力 向上へ

新聞に親しむ中で、情
報を読み解く力や表現力
の向上を図る。記事の言
葉の意味を調べたり、感
じたことをまとめたりと
各学年で取り組み、実践
校4年目となる。記事を
題材に家庭で会話を広げ
る「ファミリーフォーカ
ス」も勧める。

1月末は、各学期に1
度の「NIEタイム」が
あった。6年3組は、南
日本新聞の教育支援サイ
ト「みなみEdu」のワ
ークシートを使い、感想
を書いた。

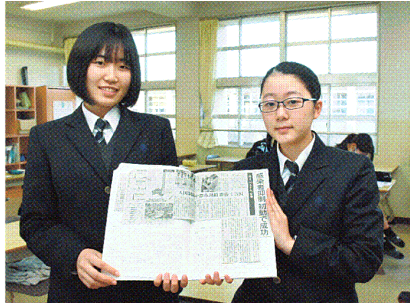
大石悠真さんは、クジ
ラの回遊についての記事
を選んだ。「奄美近海に
もクジラが来ることや、
ウオッチングができるこ
となど初めて知った。家
族に教えて、一緒に見に
行きたい」と話した。

担任の田代晋平教諭は
「継続してきたことで書
く力や思考力がついた。
さらに調べたいという意
欲も出てきた」と手応え
を感じている。

（小手川美子）

か
ご
し
ま

NIE実践校



指宿高校（指宿市）

視野を広げ書く力養う

金曜朝の10分間、新聞
記事を読んで感想を書く
「朝コラム」の時間を設
けている。時事問題に触
れて視野を広げ、小論文
を書く力を養うためだ。

記事は、題材が偏らな
いよう5教科の担当教諭
が選ぶ。2年の松山李央
さんは「アフリカの衛生
問題の記事を読み、自分
で各国のトイレ事情を調
べるきっかけになった」
と話す。

看護師など医療系への
進路希望者は3〜4人の
グループで「新聞スクラ
ップリレー」を続けてい
る。記事を選んで要約と
意見を80字以内にまと
め、次の人へつなぐ。ワ
クチンの情報や医療従事
者への差別など、新型コ
ロナウイルス関連の記事
を多く扱ってきた。

実践校3年目。国語科
の有島寛教諭（34）は「入
試が多様化し、読解の量
が増えた。新聞のように
社会問題を扱う文章を読
むことが重要」と話した。

スクラップリレーを続けている2年の

園田彩乃さん（左）と松永亜美さん

（兵頭昌彦）